

たしかめて。火を消してから次のこと

9日～15日秋の火災予防運動

「たしかめて。火を消してから次のこと」を統一標語に、秋の火災予防運動が、11月9日(金)から15日(木)まで実施されます。期間中、消防本部・消防署・消防団では、市内の大型店舗、危険物運搬車両などの査察や消防車両による巡回広報を行います。また、市内全域で枯れ草などの調査を実施します。家屋の近くの雑草が枯れて火災

の取り扱いは一人ひとりが十分注意し、火災から大切な生命財産を守りましょう。



「たしかめて。火を消してから次のこと」を統一標語に、秋の火災予防運動が、11月9日(金)から15日(木)まで実施されます。期間中、消防本部・消防署・消防団では、市内の大型店舗、危険物運搬車両などの査察や消防車両による巡回広報を行います。また、市内全域で枯れ草などの調査を実施します。家屋の近くの雑草が枯れて火災

の取り扱いは一人ひとりが十分注意し、火災から大切な生命財産を守りましょう。

①寝たばこは、絶対にやめましょう ②ストーブは、燃えやすいものから離して使いましょう ③こんろのそばを離れるときは、必ず火を消しましょう ④逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置しましょう ⑤寝具や衣類からの火災を防ぐために、次の日程で展示しますの

防火ポスター 入選作品決まる

消防本部が市内小中学生から募集した平成13年度防火ポスターの入選作品が決まりました。

応募作品は68点(小学生50点、中学生14点)で、この中から市長表彰43点が選ばれました。また、市長表彰のうち14点が、県消防協会高座支部長表彰を受けました。今年の防火ポスターは、大島麻衣さん(上星小)と古沢亮さん(大谷中)の作品が他市の受賞作品とともに使用されます。

受賞者は次のとおり(敬称略) 順不同、氏名太字の14人は県消防協会高座支部長賞も受賞。

▽小学1年生の部 中川達也(上星)、森田涼太(海老名)、今井舞弥(門沢橋)、高橋秀平(同)、

永麻衣子(同)、柳田英里(杉久保、安彦ひとみ(大谷)、金田恵理子(中新田)。

▽中学1年生の部 早田将人

市内の小中学生を対象とした、平成13年度非行防止啓発ポスターコンクール(教育委員会・青少年相談所補導員協議会共催)は、応募作品97点を審査の結果、最優秀作品2点、優秀作品14点が決まりました。

入賞者の表彰は、11月17日(土)の「家庭と地域の教育を考えるつどい」の場で行われます。



防火ポスター ④古沢 亮さんの作品 ⑦大島麻衣さんの作品



柳田英里さんの作品



中根 歩さんの作品

対象	補助金
雨水活用施設の設置	設置費の3分の1以内。30,000円を限度
太陽光発電施設の設置	設置費の3分の1以内。発電能力1kWに付50,000円とし、200,000円を限度
太陽熱利用施設の設置(高効率ソーラーシステム)	1施設に付50,000円とする
風力発電施設の設置	設置費の3分の1以内。発電能力1kWに付30,000円とし、90,000円を限度
低公害車の購入	通常車の価格を差し引いた額に0.2を乗じた額とし、100,000円を限度

最近新聞などで、落ち着きのない子が増えているという記事を目にします。その中にADHD(注意欠陥多動性障害)の子どもがいます。教育センターでは、ADHDについての正しい認識と適切な対応について理解を深めるため、講座を開催します。

▽日時 11月13日(火)午後2時15分～4時30分

▽会場 教育センター研修室(図書館3階)▽講師 原仁氏(国立特殊教育総合研究所病弱教育研究部長)▽対象 市内在住・在勤・在学の方

▽定員 先着30人

▽入場 無料。

▽申込 11月6日(火)から教育センター(☎233・7771)へ(土・日除く)。

「ADHDの子どもの理解」

●教育センター障害児教育講座

2時15分～4時30分

▽会場 教育センター研修室(図書館3階)▽講師 原仁氏(国立特殊教育総合研究所病弱教育研究部長)▽対象 市内在住・在勤・在学の方

▽定員 先着30人

▽入場 無料。

▽申込 11月6日(火)から教育センター(☎233・7771)へ(土・日除く)。

生活に、環境にやさしい施設に補助金

市では、市民のみなが生活の中に環境にやさしい施設を積極的に取り入れ、環境保全行動を実践してもらうため、雨水活用施設・太陽光発電施設・太陽熱利用施設・風力発電施設を

設置される方と、低公害車を購入される方を対象に補助金(左表)を交付します。この機会にあなとも環境にやさしい暮らしを実現してみませんか。

①官製はがきに希望施設名、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入のうえ、環境保全課環境政策係へ。申込期間は11月20日(火)～12月20日(木)。応募多数の場合は抽選。

②施設により補助金額などが異なるので、詳しくは環境保全課(内531)まで。

③市民みそづくり教室

▽日時 11月30日(金)午前9時30分～正午

▽会場 JA海老名市グリーンセンター1階調理室

▽募集人数 20人(先着順)

▽講師 県ふるさとの生活技術指導士。

④①②とも電話で農業委員会事務局(内536)へ。

リサイクルプラザで再生家具等提供

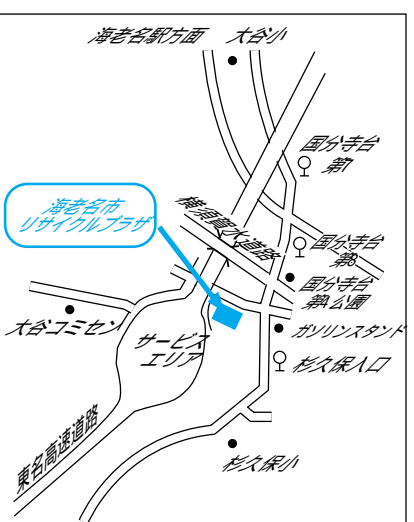
3日～10日 展示品みて申込制

10月1日にオープンしたリサイクルプラザでは、たんす、鏡台、本棚、机などの再生家具を安価で提供します。ご希望の方は、同プラザに展示している物をご覧の上、申し込んでください。

①市民と農業を考える集い

▽日時 11月30日(金)午後1時～4時30分

▽会場 JA海老名市グリーンセンター2階



●参加者を募集

第13回市民と農業を考える集いを次のとおり開催します。なお、集いに先立ち、市民みそづくり教室を開催しますので、併せて参加者を募集します。

①市民と農業を考える集い

▽日時 11月30日(金)午後1時～4時30分

▽会場 JA海老名市グリーンセンター2階

ラザに提出してください。

▽抽選会(応募者多数の場合は11月11日(日))

※引き渡しは、代金納入後となります。配送はありません。

また同プラザ

11月30日に「市民と農業を考える集い」

みそづくり教室も

集合研修室(大谷26番地)▽内容 生産者と消費者の意見発表、農産物即売。

では、不用となった小物類(食器、衣類など)の販売を常時行っています。値段は、購入希望の方が100円以上で自由に付けるシステムとなっています。引き取りも受け付けていますので、ご利用ください。

④リサイクルプラザ(☎233・3196)。